

川をscanする： 紫川を眺めながら、遊んで、学べる水環境地下空間



2014年12月（福岡県北九州市・紫川）

◆川の“今”を知る場所

水環境館は、河川情報展示ゾーンと市民交流ゾーンで構成された本格的な水環境体験館です。大きさ2.3m×7.2mの河川観察窓からは川に棲む生き物や、淡水と海水の境界面（塩水くさび）などが観察できます。

◆市民のアイデアから発想

「一番身近な自然」の川を知るため、中3の生徒（当時）のアイデアによる水中観察のガラス窓。またアユ博士の故日高教授の提案により、水深、流量、水質なども調べられます。市民ギャラリーでは子供たちが体験学習を楽しんでいます。

岡村幸二（JRRN会員）